

サロン風待ち（天神町自治会）

10数年前、天神町に風待ち街道を立ち上げた際に「サロン風待ち」を企画し、令和元年6月に定期的な活動を始めました。

参加者は、天神町の高齢者を中心としていますが、他圏域からも参加が可能で、自分たちの思いのままの活動を行っています。

今後も感染症対策を行い、体調に気をつけながら、活動を続けていきたいです。

■活動拠点／ヨシオカ家具店舗内 ■開催日／月2回（第2、第4水曜日）

■主な活動／健康教室、会食、茶話、手芸、講話、バスハイク等（※撮影時のみマスクを外しています）

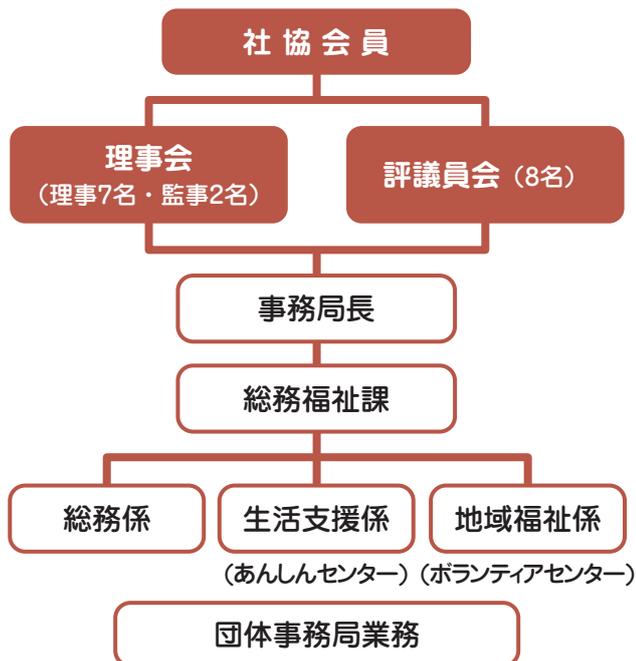


2022年5月発行
第84号

社協

通信

社協の組織



- ・ 隠岐の島町共同募金委員会
- ・ 日本赤十字社島根県支部隠岐の島町分区
- ・ 隠岐の島町老人クラブ連合会
- ・ おき後見ネットワーク
- ・ 隠岐の島町シルバー人材センター

個人情報の保護について

本会は、以下の方針に基づき、個人情報の保護に努めております。

- 1. 法令の遵守** 個人情報保護に関する関係法令等に基づき、個人情報保護規程を定め、実施する事業において、個人情報を慎重に取扱います。
- 2. 適正な取得及び利用** 個人情報を適法かつ適正な方法で取得します。また、個人情報の利用目的をできる限り特定するとともに、その利用目的の範囲でのみ個人情報を利用します。
- 3. 第三者への提供** 明示した範囲及び法令等の規定に基づく場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。
- 4. 適切な管理** 個人情報を正確な状態に保つとともに、漏えい、滅失、き損などを防止するため、適切な措置を講じます。また、個人情報を保護するために適切な管理体制を講じ、役職員の意識啓発に努めます。
- 5. 開示・訂正等** 本人から自己の個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止等の申し出があった場合には速やかに対応します。
- 6. 苦情への対応** 個人情報の取扱いに関する苦情があったときは、適切かつ速やかに対応します。

研修室が使用できます

隠岐の島町社会福祉センター研修室が会議等にご利用できます。

詳しくはお問い合わせください。

- **使用時間** 8時30分～17時
- **使用料金** 1時間250円 (1室)
※町内の団体が福祉活動に使用する場合は無料
- **休館日** 土・日・祝日、12/29～1/3



多機能集会室



多目的研修室

【お問い合わせ先】

隠岐の島町社会福祉協議会 総務係
電話 2-0685 (担当：戸田・山西)

あいサポーターになりませんか？

多様な障がいの特性や障がいのある方の困りごと、必要な配慮を理解し、日常生活の中で必要なときにちょっとした手助けができる“あいサポーター”になりませんか？

地域や職場、学校、グループなどで、サポーターになるための研修の受講をぜひご検討ください。

本会から職員や講師を派遣します。お気軽にお問い合わせください。

- **内容** / あいサポート運動の目的と障がいへの理解を深めるための講義、DVDの視聴など
- **時間** / 90分程度



【お問い合わせ先】

隠岐の島町社会福祉協議会 地域福祉係
電話 2-0685 (担当：山根・池田)

お達者落語会を開催します

「古典落語」と「いきいき医学講座」の
 二部構成
 “お達者落語会”
 “笑いと免疫力・・・そして健康”
 のタイトルで、笑うことで自然治癒力
 が強くなり健康であり続けるという笑
 いのもつ不思議な力について、おもしろ
 おかしく語ります。

プロフィール

春雨や落雷

(はるさめやらくらい)

本名：安部正之(あべまさゆき)
 整形外科専門医、形成外科専門医、
 健康スポーツ医、笑い療法士、
 日本笑い学会

- ・平成18年：4代目春雨や雷蔵に
 入門
- ・平成24年：真打ちに昇進

真打ちDr春雨や落雷の落語会

笑いと免疫力

入場無料

令和4年

6月12日(日)

【会場】

隠岐島文化会館大ホール

【定員】

300名 (申込順)

午後1時開場 午後1時30分開演
 (混雑する場合は早めに開場することがあります。)

午後1時30分～40分 開会行事

午後1時40分～2時20分

第1部：江戸古典落語

午後2時20分～35分 休憩

午後2時35分～3時15分

第2部：いきいき医学講話

「笑って健康

“笑いと免疫力そして、、健康”」

事前に申し込みが必要です。
 社会福祉協議会まで必ず電話
 等でお申し込みください。
 (氏名と連絡先を伺います。)
 定員になり次第締め切ります。

主催 隠岐の島町社会福祉協議会 (☎2-0685 FAX 2-4517)
 共催 隠岐の島町共同募金委員会

この講演会は社協会費と共同募金の
 助成を受けて開催します。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い】 ●マスクの着用、咳エチケット、手洗い、消毒にご協力ください。

●咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合はご来場をお控えください。

●感染症の拡大防止のため講演が中止となる場合があります。●ソーシャルディスタンスを確保した座席レイアウトになります。

西郷中町町内会連合会が総務省消防庁が主催する 防災まちづくり大賞で総務大臣賞を受賞しました!

西郷中町町内会連合会について

島の玄関口に位置し、9つの町内会からなる連合会組織で、人口およそ280人、160世帯、高齢化率は約46%に上り、年少人口率は全体の7%という人口構成。「声かけて笑顔でつなぐわが町を」をスローガンとして、地域が抱える課題を自分たちで解決するための様々な活動を進めている。

背景

当連合会は、昭和40年代頃までは最新の文化や情報、商品に触れられる商店街として、烏賊漁を中心とした漁業を中心に賑わいを見せていた。しかし昭和50年代以降、若者の地区外流出、空き家の増加等が進み、住民同士の挨拶もまばらになるほど段々と人々のつながりは薄れていった。

深刻な高齢化を裏付けるように孤独死の発生が続き、この出来事をきっかけに今一度、地域の縁を結び直そうと、高齢者宅の安否確認訪問活動に取り組み始めた。

また平成23年には東日本大震災が発生し、平成24年、自主防災組織を発足させた。災害時の活動は、住民同士の信頼関係、助け合いがあってこそ成り立つものと考え、高齢者活動を行う「えんづくりの会」、日常生活の困りごとを住民同士で解決し合う「暮らし応援会」、定期的に集うサロン、子ども防災巡回等と共に推進し、災害時に住民誰一人取り残されることのない取り組みを目指した。



▲昭和初期から40年頃
「隠岐するめ」を偲ぶ様子やにぎわう中町の通り

取り組みの内容

主に自主防災組織の班員30数名と、高齢者宅への声かけ活動を行う『えんづくりの会』と共同している。

年に2回以上、10年間継続して訓練等実施している。内容は、避難訓練や図上訓練をはじめ、消火活動ゲーム、津波対策クイズや講習会、まち歩き等である。

初めての避難訓練時には、「災害で命を失ってはいけない」を合言葉に実施し、えんづくりの会の訪問員が高齢者のお宅に呼びかけながら共に避難する姿などが多く見られ、住民の防災意識をより高める効果となった。

また、地区内に事務所を構える事業所にも避難訓練に参加してもらい、若い世代が手薄となる昼間でも地域と企業等が連携して防災、減災に取り組めるよう工夫している。

令和2年には、初めて夜間消火訓練を行う等工夫しながら防災活動を継続している。

全家庭へ火災報知機の設置についてのアンケートを実施し、その後、当連合会から設置費用を補助し、設置率が当初の30%台から80%となった。

ハード面の強化も毎年行っている。消火栓やホースの点検を定期的に行い、共同募金等を活用するなど財源確保に努めながら防災機器も計画的に整備している。現在は港から5本の避難路へ誘導するため、公道上へ避難誘導看板の設置を進めている。

取り組みの成果

自主防災組織を立ち上げた当初は「班員の顔を知らない」「自分の所属する班を知らない」という声さえ出ていたが、10年に渡りつながりを育む活動と共に防災の取り組みを推し進めたことで、笑顔や挨拶が増え、住民同士が自然と声をかけ合って防災活動へ参加する様子が見られ、防災活動をより効果的に進めることができた。

令和元年には隣接の地区で約10棟を焼失した大火が発生したが、地区民9名が消火活動に参加し冷静に対応ができ、当地区への類焼を逃れた。訓練から実際の消火活動の実践につながり、地域を、人を守れた事案だった。

近年自然災害が多発する中で、一時避難所の開設及び住民の避難が迅速に出来るようになった。近年は毎年避難所を開設しており(多い年で年に3回程に及ぶ)現在では多発する災害にできるだけ早く対応できるよう、自発的参集及び初動時危機管理体制の確立を目指している。



女性も参加する防災基礎訓練



えんつくりの会会員と避難する高齢者



講師を招いての防災講演会とまち歩き



事業所も参加して実施した消火訓練

防災まちづくり大賞選定委員からは

- 島という特徴的な地理条件下において、顔が見える関係を構築し、高齢者の安否確認等の緊急時への対応策を構築している。
- 人口減少と高齢化が極度に進行した過疎地域におけるいわば「老々防災」活動であるが隣接地域の火災発生時の対応に成果をあげるなど実績につなげている。
- 地域課題の解決と合わせ技で様々な工夫をしており、事業所とも連携している。

などの意見があり当連合会の取り組みが高く評価されました。

今後も「災害で命を失わない」ための「災害にも強いまちづくり・ひとづくり」を地域一丸と
なり継続していくとのことです。

一緒に働きませんか？ シルバー人材センター会員募集中

仕事を退職し、時間を持て余し気味・・・

マイペースで働きたい！

健康のために体を動かしたい！

地域のために何かしたい！

こんなお悩みをお持ちの方、豊かな知識、経験、能力を活かしてシルバー人材センターでお仕事してみませんか？

会員の条件

●60歳以上で健康な方 ●働く意欲のある方 ●センターの趣旨に賛同される方 ●年会費1,000円を納めた方

会員の声

会員さんにインタビューをしました。

Q. センターに入会したきっかけは何ですか？

A. はじめは学童保育の仕事に興味があり、シルバー人材センターのチラシを見てセンターでそういった仕事ができる事を知り、入会しました。

Q. センターに入会して良かったなと感じる時はいつですか？

A. 社会とのつながりが復活したことです。シルバー人材センターで働くことは精神面でとてもメリットが大きく、シニアの体力などにあった働き方ができるので良いと思います。

Q. 業務内容を教えてください。

A. 荷物の梱包と事務所内の掃除をしています。
(月に2~3回 9:00~11:00)

Q. お仕事をする上で心がけていることはありますか？

A. シルバーだからと言ってそれに甘えることなく、丁寧な仕事を心がけています。

Q. お仕事をしていく中でやりがいを感じる瞬間などあれば教えてください。

A. 報酬のある仕事をさせてもらえることで、報酬分の信頼を得ようと努力をすることなどにやりがいを感じます。

Q. 今後の目標を教えてください。

A. 身体と相談しながら元気で働きたいです。



シルバー人材センターからのお知らせ

●シルバー人材センター説明会

説明会を月1回開催しております。
ぜひご参加ください。

日時	場所
5/20日(金)14時~	役場町民ホール101
6/17日(金)14時~	社会福祉協議会(原田396)
7/15日(金)14時~	役場町民ホール101

※日程は変更になる場合があります。

【お問い合わせ先】 電話：3-1533 アドレス：oki-sjc@oki-fukushi.net (担当：山口/大田)

●お仕事を依頼される方へ

シルバー人材センターでは、お墓掃除等をお受けしていますが、お盆前の依頼が増え、**8月上旬の作業が難しくなってきました。**7~8月に墓清掃、除草作業等を依頼される方は希望通りの作業日とはならない場合がありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

くらしのあんしん 日常生活自立支援事業

生活支援員さん募集中

Q. 日常生活自立支援事業って？

例えば、次のような不安のある方への…



次のような内容のご支援を行うサービスです。

福祉サービス等利用のお手伝い

- 福祉サービスの利用、施設利用料の支払い手続き
- 苦情に関する相談 等

金銭管理のお手伝い

- 生活費や預金の払戻し、医療費の支払い、税金や公共料金を支払う手続き 等

大切な書類等お預かり

- お預かりできる書類等：年金証書、預貯金通帳、権利書、契約書類、保険証書、実印・銀行印、等

※できない手続き、お預かりできない書類等もあります。

Q. 生活支援員の業務内容は？

常勤の社会福祉士等の職員（専門員）がご本人の希望をもとに、サービスの計画を作成します。

生活支援員は、非常勤職員として、その計画に基づき、ご本人のところへ定期的に訪問を行い、生活費の出し入れや、公共料金、医療・福祉サービス等の各種の支払いを代行する活動に従事します（概ね月1回～週1回、1回1～2時間程度の稼働）。

報酬等として、賃金（900円/時間）と交通費（20円/km）をお支払いします。



Q. 生活支援員になるには？

ご連絡いただいた後、所定の研修を受講いただきます。特別な資格等は必要ありません。

あなたの力を地域の力に!

【お問い合わせ先】

隠岐の島町社会福祉協議会 専用電話 2-6377 専用アドレス nichijou@oki-fukushi.net

ご寄附
ありがとうございます

令和4年3月25日～令和4年4月27日（敬称略）

※隠岐の島町社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。



下 西 船田 俊二 奥中 正里 稔	西 町 勝部 壮 忍	東 町 酒井 良一 和 雄	岬 町 高平 修 秀 夫	平 横地 悦子 正 好	栄 町 松尾 伸之 雅 子	平 吉田 隆 小川 シマ子	西 町 松崎 一茂 英 也	東 郷 藤野 光範 ト ミ	原 田 白川 広明 義 久	東 町 佐々木 秋幸 今津 ヤスエ	加 茂 清川 寿彦 庄 一	栄 町 山崎 龍一 玉 子	都 万 高村 順幸 咲 子	住 所 寄附者氏名 故人名
-------------------------------------	------------------------	------------------------------	-----------------------------	-------------------------	------------------------------	---------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------

香典返し寄附

みんなで広げよう！ シトラスリボンプロジェクト



シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくし、「ただいま」「おかえり」と言い合えるあたたかいまちでありますようにと、愛媛県から広がった活動です。

シトラスの色は、愛媛県特産の柑橘類を、3つの輪は「地域」、「家庭」、「職場（学校）」を表しています。

隠岐の島町内の高齢者サロン等でもシトラスリボン作りが行われ、活動の輪が広がっています。

新型コロナウイルスは誰もが感染する可能性があります。正確な情報をもとに、感染された方へ思いやりのある行動を心がけましょう。

～シトラスリボンの作り方～

1

30～45cm程のヒモ
やリボンを用意。

2

ヒモの中心に
輪を作る。

3

ヒモ①側にもう一つ
輪を作る。

4

ヒモ②側にも
輪を作る。

5

ヒモ③を輪A、Bに
通す。

6

ヒモ④を輪Cに通す。

7

ヒモ④を下におろす。

8

ヒモ④をこのように
輪に通す。

9

ヒモを引っ張り
形を整えたら完成。